



GeneXus 17 Basic コース

(e ラーニング)

受講者端末準備のご案内

Copyright © GeneXus Japan, inc.2016-20222.

All rights reserved. 本書は、GeneXus Japan ,inc. の明示的同意なしには如何なるメディアにも複写することはできません。本書の内容は個人的使用のみを目的として提供するものです。

登録商標

GeneXus™ は GeneXus S.A. の登録商標です。また、本書において取り上げているその他の商標は、すべてそれぞれの所有者の所有物です。

はじめに	3
A. GENEXUS 利用環境とアプリ実行環境の準備	4
B. GENEXUS 17 のインストールとライセンス請求	12
1. GeneXus のインストール	12
2. ライセンス請求 （開講日 10 日前よりライセンス請求受付）	12
3. ライセンス取得	13
C. GENEXUS 開発環境の動作確認	14

はじめに

この度は、GeneXus 17 Basic コース（e ラーニング）のお申し込みを頂き、誠にありがとうございます。

本書では本コースを受講するために必要となる端末の準備について記載しています。

☆自社の開発環境およびライセンスを使って受講される方はこの準備は不要です。

☆環境構築（GeneXus のインストール、ライセンス請求など）に関するお問い合わせは

パートナー企業を通じてのお申込みの場合： パートナーご担当者様までご連絡ください。

ジェネクス・ジャパンへ直接お申込みの場合： info@genexus.jp までご連絡ください。

A. GeneXus 利用環境とアプリ実行環境の準備

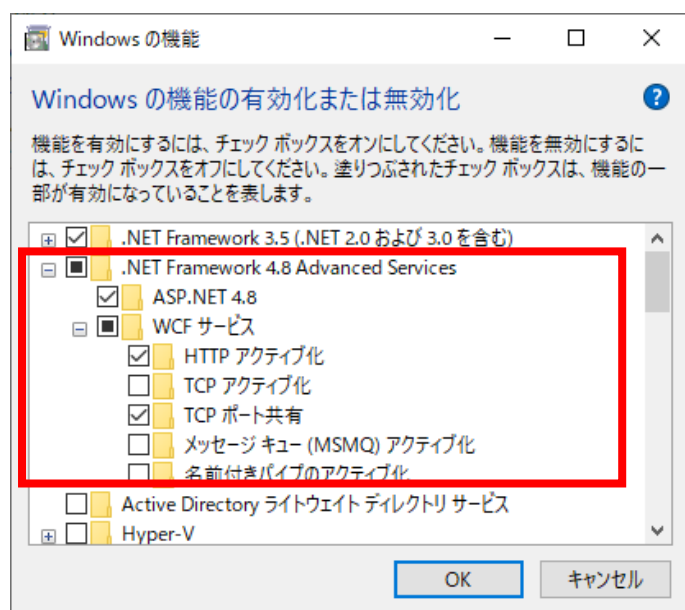
1. インターネットインフォメーションサービス (IIS) および Microsoft .Net Framework 4.7.1 以上のインストール

本研修で対象とする GeneXus 17 U8 には 上記.Net Framework バージョンのインストールが求められています。¹

コントロールパネルを起動 > カテゴリ表示にして「プログラム」を選択 > 「Windows 機能の有効化または無効化」を選択します。

図 1、図 2 (Windows 10 の例) のスクリーンショットの赤枠内でチェックマークが付いている項目をすべて選び、OK をクリックしてください。

図 1(Windows 10 の例)

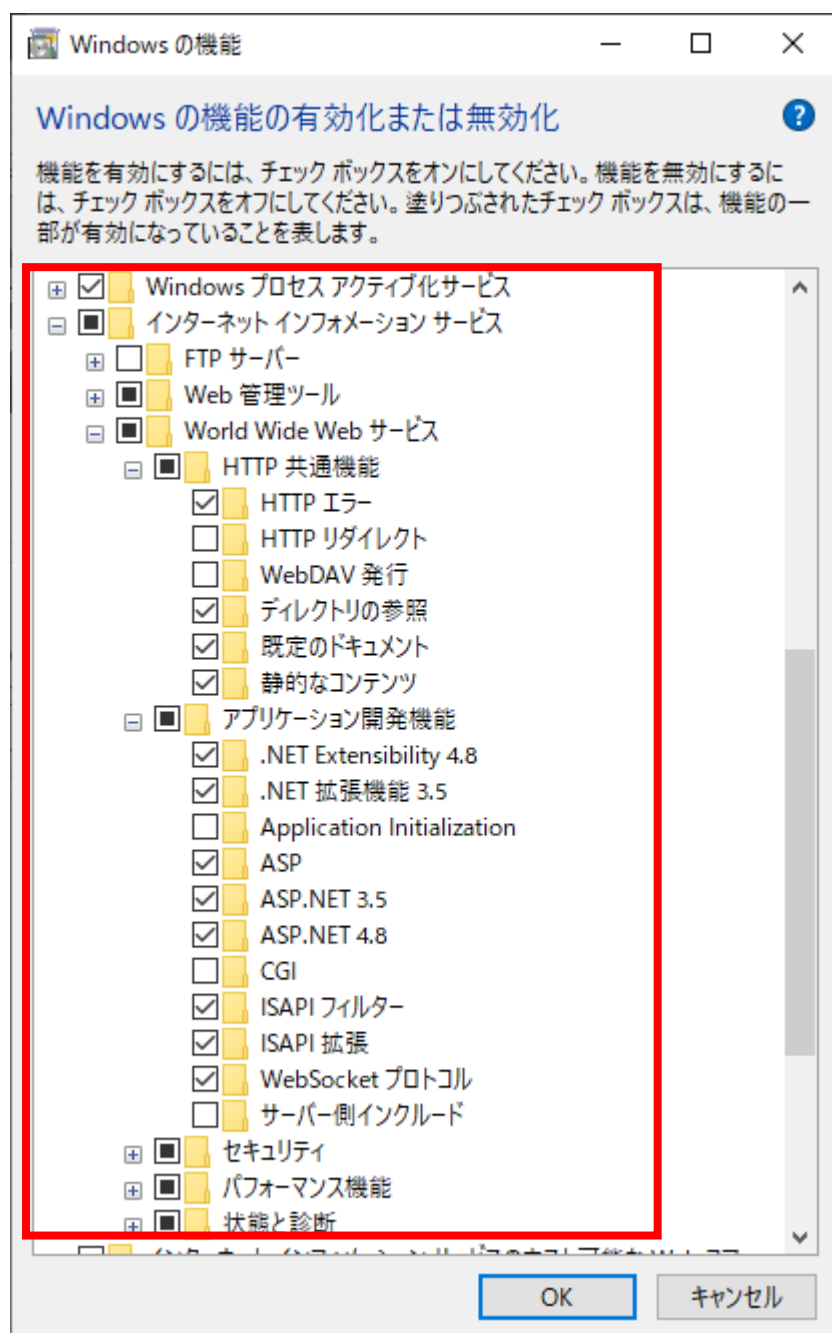


¹補足 GeneXus 17 のハードウェアとソフトウェアの要件

<http://wiki.genexus.jp/hwikibypageid.aspx?30900>

注意) 本研修では GeneXus 17 U8 を推奨しています。それ以降の Upgrade を利用される場合は必要な要件を満たしてください。

図 2 (Windows 10 の場合)

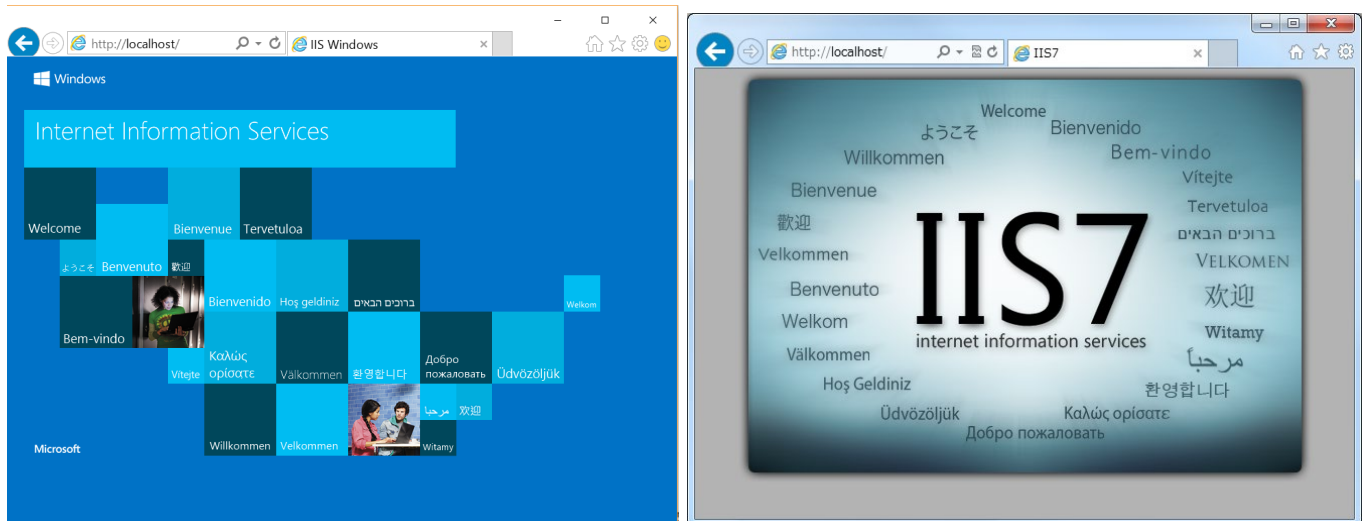


2. IIS のインストール確認

ブラウザから以下の URL を参照し、図 3 のいずれかのスクリーンショットと同様の画面が表示されることを確認してください。

<http://localhost/>

図 3



※バージョンによって表示が変わります。

3. Microsoft URL Rewrite 2.1 のインストール

以下のページからインストーラーをダウンロードし、インストールしてください：

<https://www.iis.net/downloads/microsoft/url-rewrite#additionalDownloads>

4. SQL Server のインストール (Microsoft SQL Server 2019)

4-1. 以下のページからインストーラーをダウンロードし、インストールします：

<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=101064>

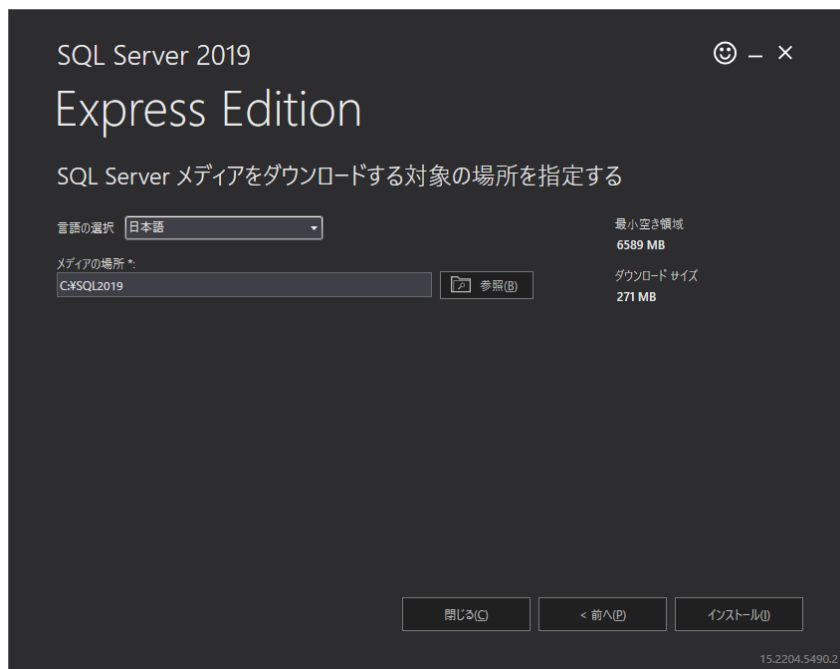
2022 年 6 月現在、「2019」のご利用を推奨しています。

4-2. ダウンロードしたインストーラー(SQL2019-SSEI-Expr.exe)を実行し、表示される下記画面にて「カスタム」を選択します。



4-3. インストールメディアのダウンロードについて指定する画面が表示されます。

必要に応じて「メディアの場所」を変更し、「インストール」をクリックします。



- 4-4. インストールメディアのダウンロードおよびインストールが完了すると、「SQL Server インストールセンター」が表示されます。

「SQL Server の新規スタンドアロン インストールを実行するか、既存のインストールに機能を追加」をクリックします。



- 4-5. 「SQL Server 2019 セットアップ」が表示されます。

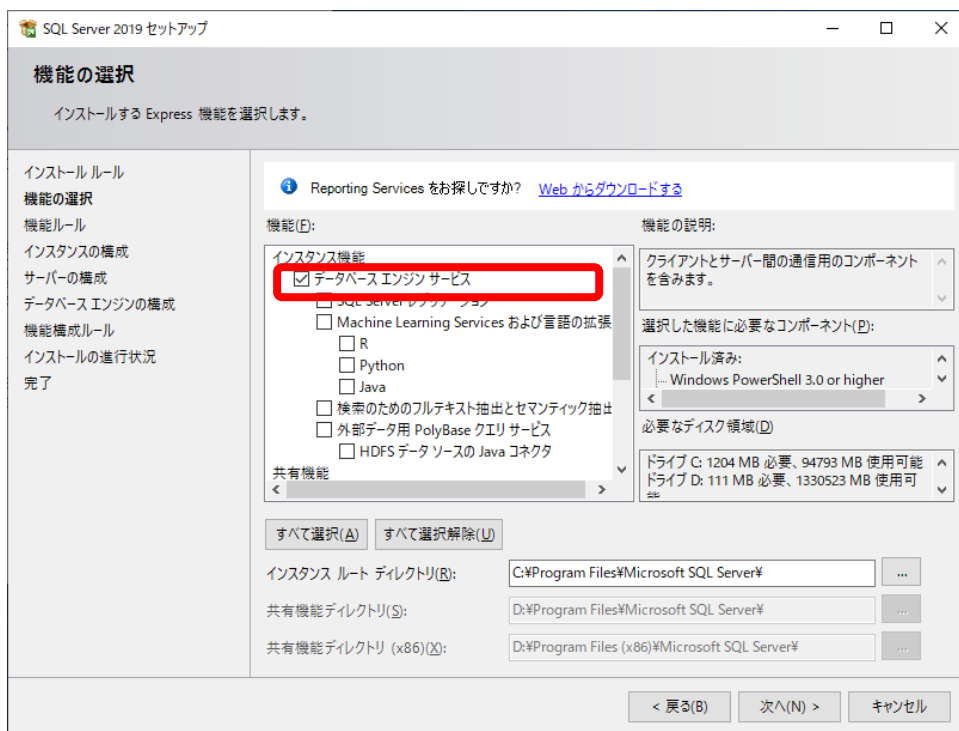
ライセンス条項に同意し、「次へ」をクリックします。



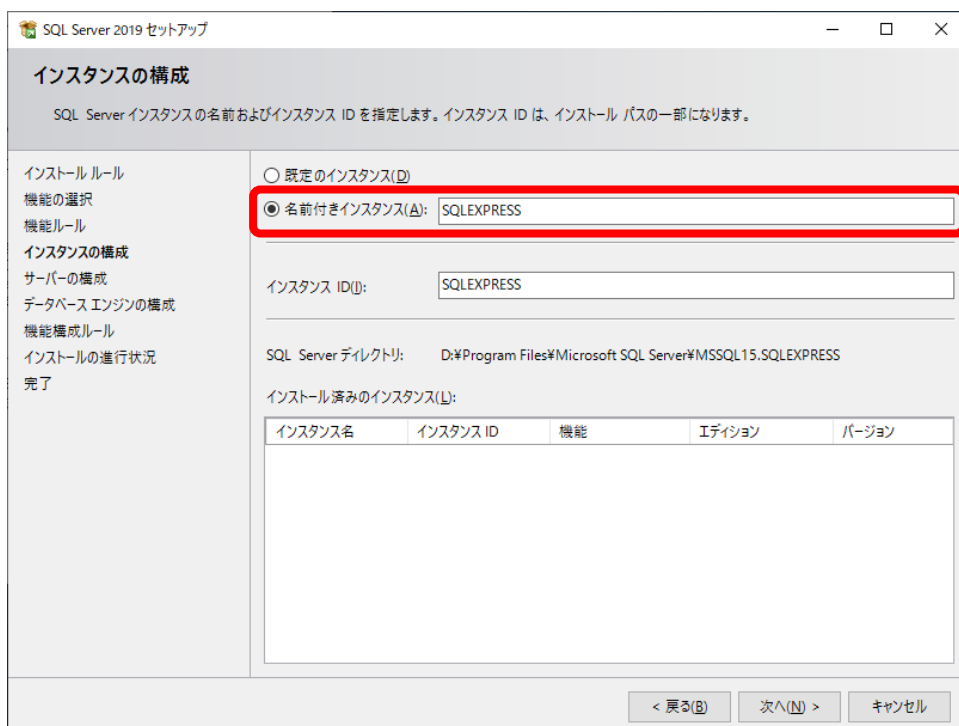
4-6. 表示に従い、「次へ」をクリックし、「機能の選択」まで進みます。

本資料ではインスタンス機能として必須となる「データベースエンジンサービス」のみを選択しています。

「次へ」をクリックします。



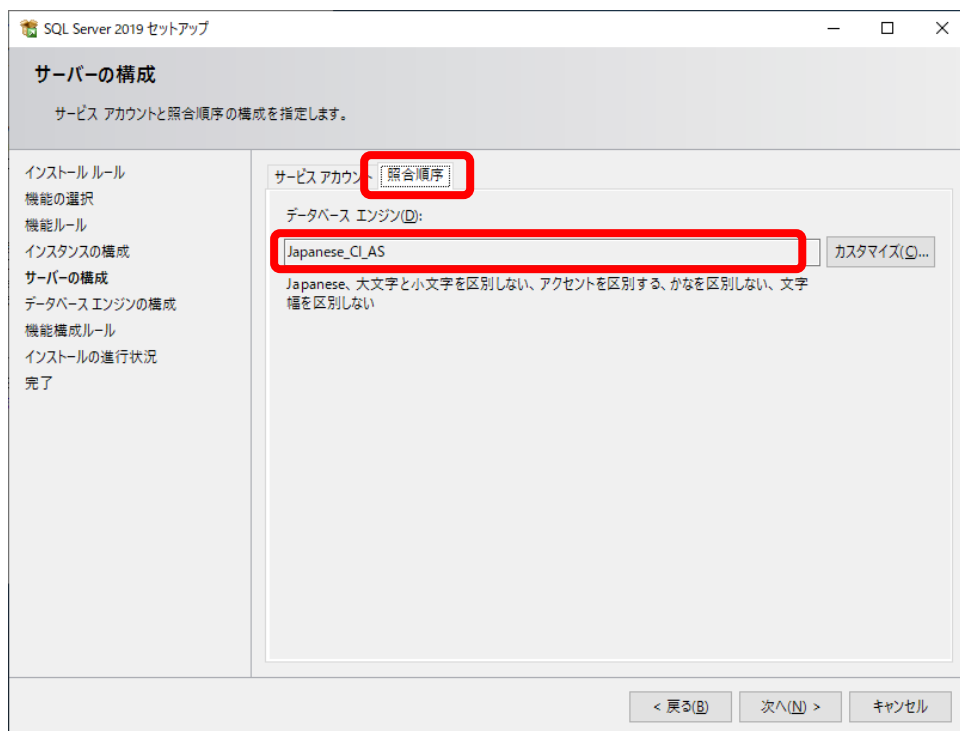
4-7. 「インスタンスの構成」では、表示されたままの「名前付きインスタンス」が選択され、名前が「SQLEXPRESS」となったままとします。「次へ」をクリックします。



4-8. 「サーバーの構成」では、表示される「照合順序」タブにて「Japanese_CI_AS」が指定されていることを確認します。

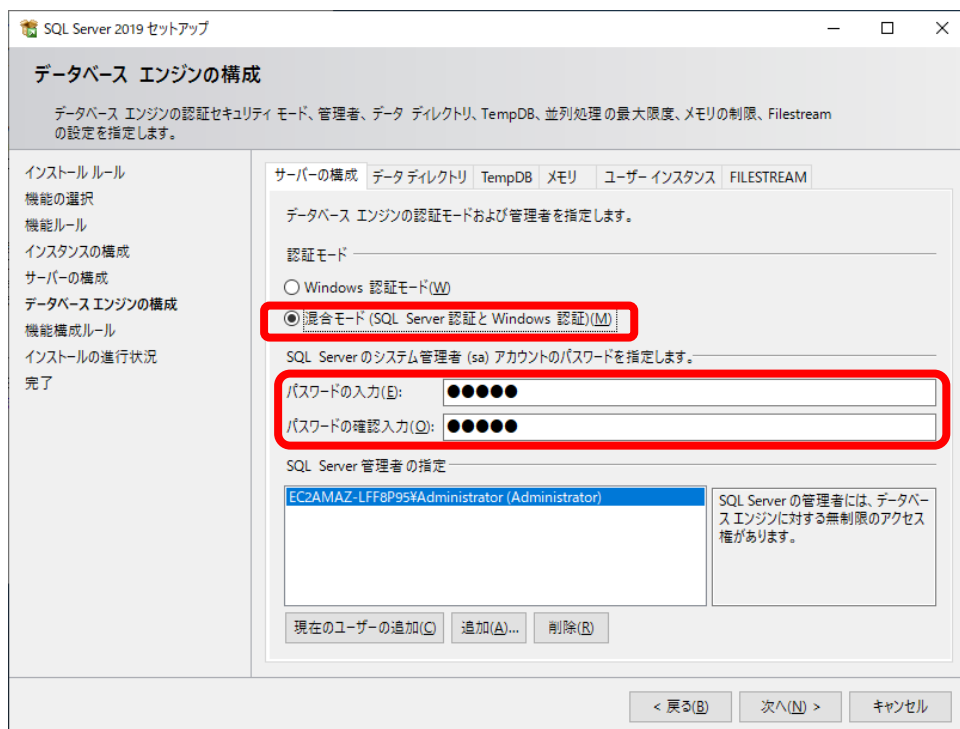
もし、「Japanese_CI_AS」でない場合、「カスタマイズ」をクリックし、変更します。

「次へ」をクリックします。

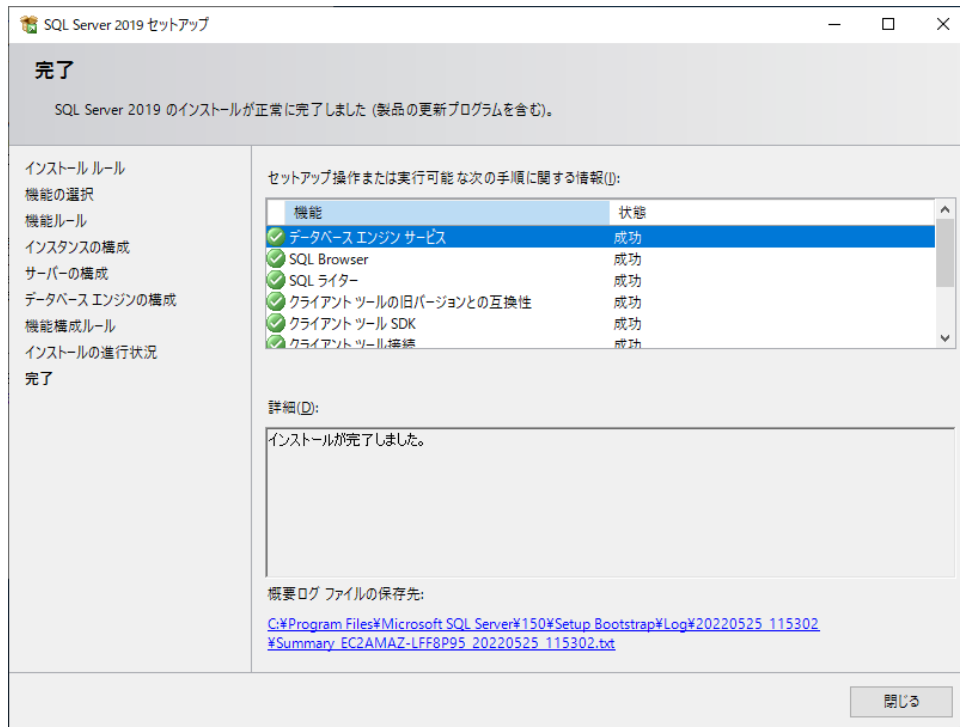


4-9. 「データベース エンジンの構成」では、「サーバーの構成」タブで「混合モード」を選択し、任意のパスワードを入力します。このアカウント(sa)とパスワードは受講者に伝えてください。

「次へ」をクリックします。



4-10. 「完了」画面でエラーが表示されていなければインストールは完了です。



5. Management Studio のインストール (オプション)

Management Studio (トラブルシュートのために利用する場合があります。) :

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/ssms/download-sql-server-management-studio-ssms?view=sql-server-ver15#available-languages>

ダウンロードする場合、表示されるリンクのうち、「Japanese」のリンクよりダウンロードを行います。

6. ブラウザの構成

本研修ではインターネットブラウザとして Chrome を使った試作を推奨しています。

OS の既定のブラウザとして指定してください :

<https://www.google.co.jp/chrome/browser/desktop/>

B. GeneXus 17 のインストールとライセンス請求

GeneXus 17 upgrade8 のインストールとライセンス請求

以下の URL から「GeneXus 17 U8 (2022 年 4 月 27 日公開)」をダウンロードしてください：

https://www.genexus.jp/wp-content/themes/genexus/images/download/GX17U8_JP.zip

以下の URL から「GeneXus 17 インストールガイド」をダウンロードしてください：

https://www.genexus.jp/wp-content/themes/genexus/images/document/GX17_InstallGuide.zip

1. GeneXus のインストール

「GeneXus 17 インストールガイド」の 22 ページ～26 ページに記載の「A) GeneXus のインストール」の操作にそって GeneXus のインストールをしてください。

もし、受講者が端末を「リモートデスクトップ接続」によって利用する場合、別途 Protection Server のインストールが必要となります。以下の URL から「Protection Server 9.8.1.25 (2022 年 4 月 27 日公開)」をダウンロードし、インストールしてください。

https://www.genexus.jp/wp-content/themes/genexus/images/download/Protection_Server_9.8.1.25_Setup.zip

2. ライセンス請求 （開講日 10 日前よりライセンス請求受付）

①ライセンス発行には会社情報の登録が必要となります。

メール「【GXJ】GeneXus 17 Basic コース（e ラーニング）のお申込みお礼」に、Sample PO（添付：Excel 形式）という資料を添付しています。セルが黄色く塗りつぶされている部分が必須項目となります。「英語」でご入力ください。

②「GeneXus 17 インストールガイド」の 34 ページ「E) ライセンス請求」を参照し、GeneXus のライセンスの請求ファイルを作成してください。研修で必要なライセンスは次の通りです。

Development Environment - Japanese Edition

.Net Framework Generator

GXFlow

Native Mobile Generator

③上記①の PO と②のライセンス請求ファイルを、メールにて添付して GeneXus のライセンスを請求してください。

「GeneXus 17 インストールガイド」の 38 ページ手順 8 として記載のメール本文内の**ライセンス番号の記入**は不要です。

【ライセンス請求先メールアドレス① パートナー様よりお申し込みいただいたお客様】

⇒パートナー様よりご指定のアドレスを経由してライセンス請求を行ってください。

【ライセンス請求先メールアドレス② パートナーご担当者様および弊社直販のお客様】

GX-J keymaster <keysmaster@genexus.jp> 担当者宛て

※注意：当日の受付は 16 時までです。16 時以降に頂いたライセンス請求については翌営業日の受付となりますので、予めご了承の程お願い致します。

本研修は.NET Framework + SQLserver 環境のみサポートしており、Java 環境などお客様個別の環境のサポートはしていません。詳細は各パートナー様にご相談ください。

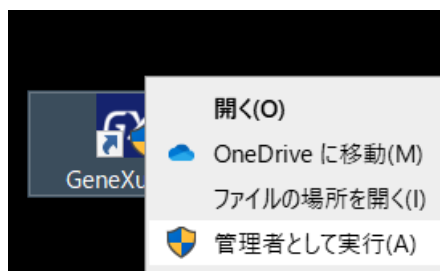
3.ライセンス取得

「GeneXus 17 インストールガイド」の 40 ページ（「F) ライセンスの取込み」）を参照し、GeneXus のライセンスを有効化してください。

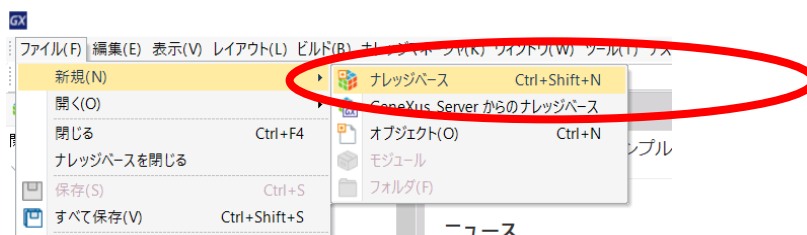
C. GeneXus 開発環境の動作確認

ここでは動作確認のため、生成アプリケーションからデータベースに接続できるまでを確認します（下記の内容の詳細については、e ラーニングのコンテンツのなかで講師が説明します）。

1. デスクトップより GeneXus17 アイコンを右クリックして「管理者として実行(A)」を選択します。

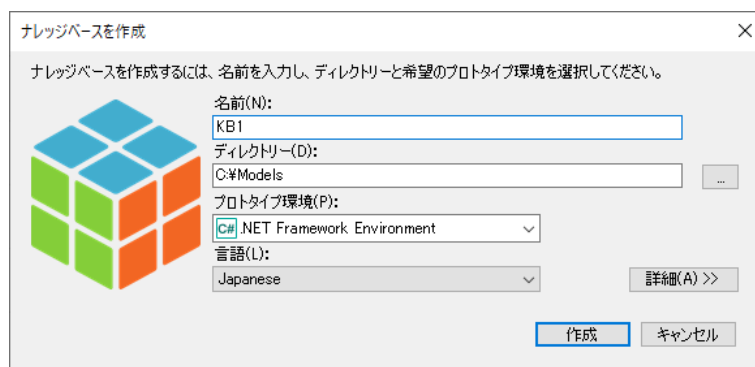


2. ナレッジベースを新規に作成します。



名前に「KB1」と入力し、プロトタイプ環境に「.NET Framework Environment」を選択し、

「作成」をクリックします。²



² もし「信頼ユーザーはx x x（ユーザー名）サーバー上ではデータベース作成権限を持っていません。」が表示される場合、GeneXusの「ナレッジベースを作成」ダイアログより「詳細(A)」をクリックし、サーバー名を確認してください。「A GeneXus 利用環境とアプリケーション実行環境の準備」の「4. SQL Server のインストール (Microsoft® SQL Server 2019)」でインストールしたインスタンス名を指定する必要があります。例：localhost¥sqlexpress）。

上記のサーバー名の確認の上で、次のうち2つのうちどちらかの対応を検討してください。

1. 次ページを参考にユーザーID、パスワード認証による接続(SQLサーバー接続)を使用して適切なユーザー（例：sa）でログインする。
2. SQLサーバーのマネジメントスタジオより windows の接続ユーザー名に dbcreator 権限を付与する。

■（参考）SQL サーバーへの接続に「SQL サーバー接続」を利用するには

SQL サーバーとの接続方法は、基本的にお使いの環境に合わせて指定いただく必要があります。本マニュアルに沿ってご自身で SQLserver をインストールした場合は、通常 Windows 認証で構成できますので、以下の操作は不要です。SQLserver との接続エラー時の回避方法の一例としてご利用ください。

「作成」ボタンをクリックする前に次の設定を行います。

ナレッジベースを作成するには、名前を入力し、ディレクトリーと希望のプロトタイプ環境を選択してください。

名前(N): KB1
 ディレクトリー(D): C:\Models
 プロトタイプ環境(P): C# .NET Framework Environment
 言語(L): Japanese

<< 標準(B)

ナレッジベースストレージ

サーバー名(S): localhost\SQLEXPRESS
 データベース名(A): GX_KB_KB1
 照合(C): Latin1_General_100_CI_AS_SC_UTF8

Windows NT 統合認証を使用(W)
 特定のユーザー ID とパスワードを使用(U)

ユーザー ID (U):
 パスワード(P):
☒ パスワードを保存(V)
☐ ナレッジベースフォルダにデータファイルを作成(T)

ナレッジベースの作成場所

フォルダ: C:\Models\KB1
 サーバー: localhost\SQLEXPRESS
 データベース: GX_KB_KB1

作成 キャンセル

① 「詳細」ボタンをクリックします。（「詳細」ボタンをクリックすると、黄色の太線で囲んだ部分が表示され、「詳細」ボタンが「標準」ボタン（赤太線）に変わります。）

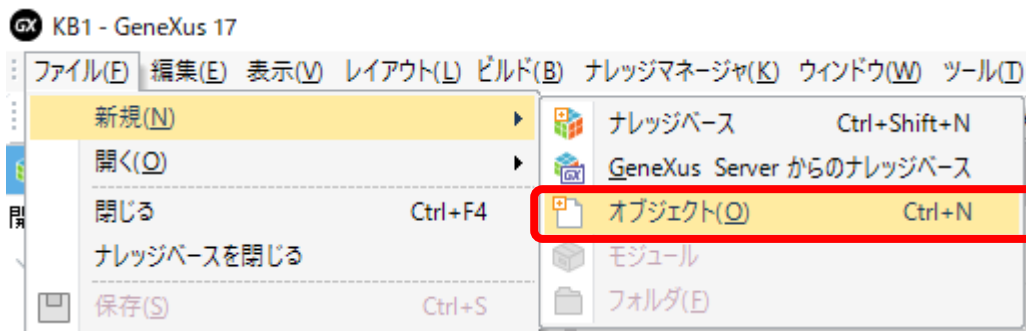
② SQL サーバー接続を使用する場合は、緑色の太枠部分「特定のユーザーID とパスワードを使用」を選択し、下記内容を入力します。

ユーザーID : dbcreator 権限を持つ User 名（例：「sa」）

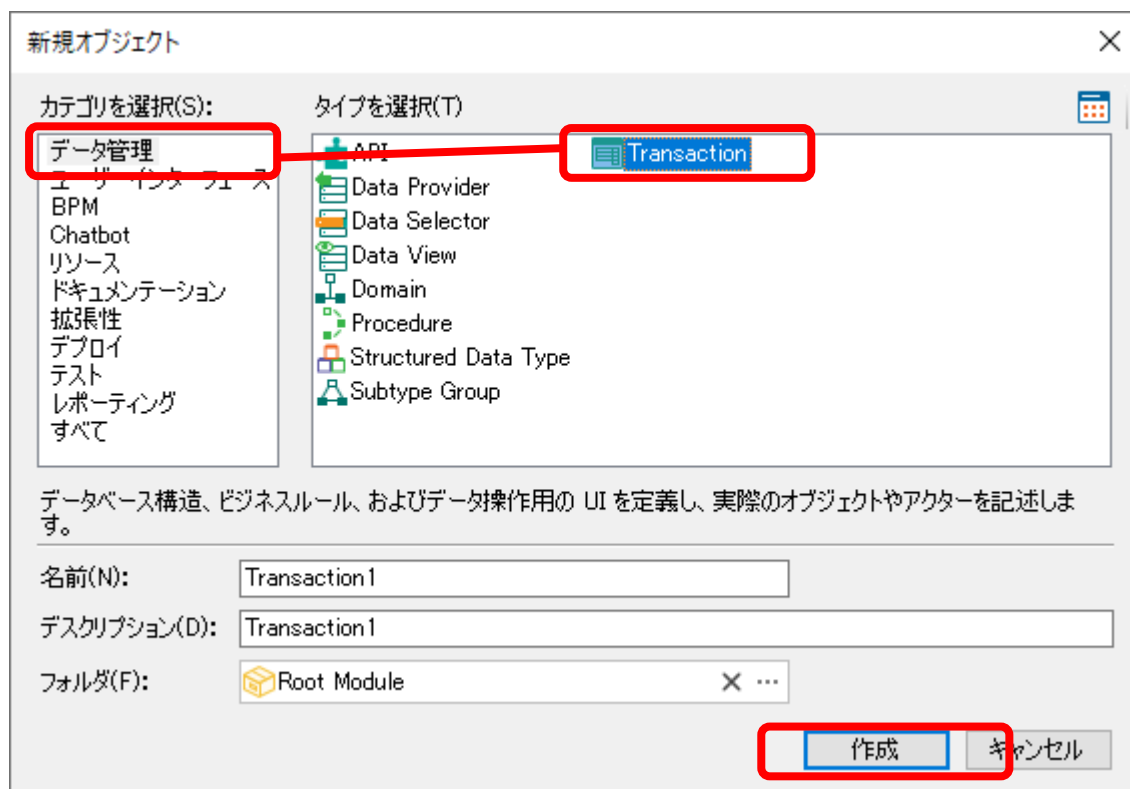
パスワード : 上記ユーザーID に対して設定したパスワード

③ 「作成」ボタンをクリックします。

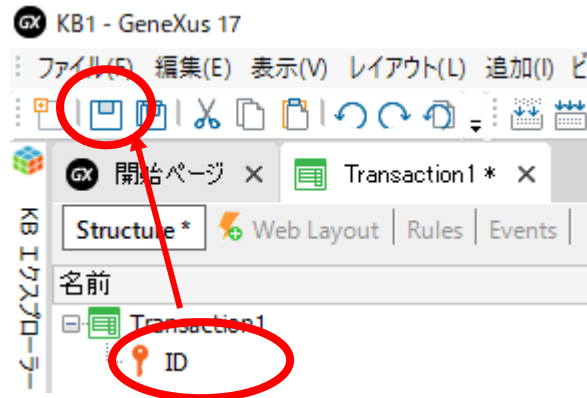
3. トランザクションオブジェクトを作成します。
 下図の通り、「オブジェクト」を選択します。




4. 「データ管理」カテゴリの「Transaction」を選択して、作成ボタンをクリックします。

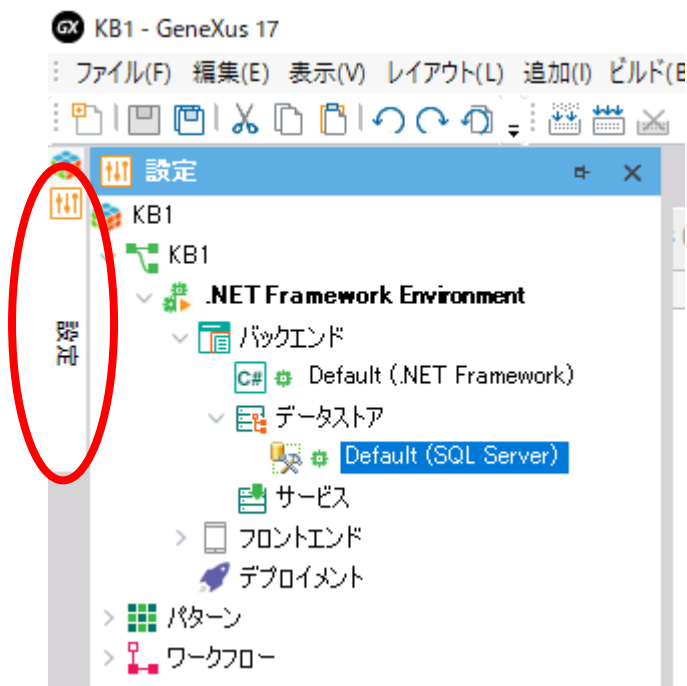


下図のように「ID」と入力し、保存ボタンをクリックします。

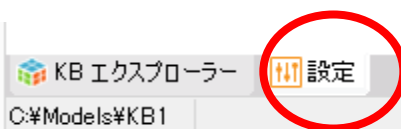


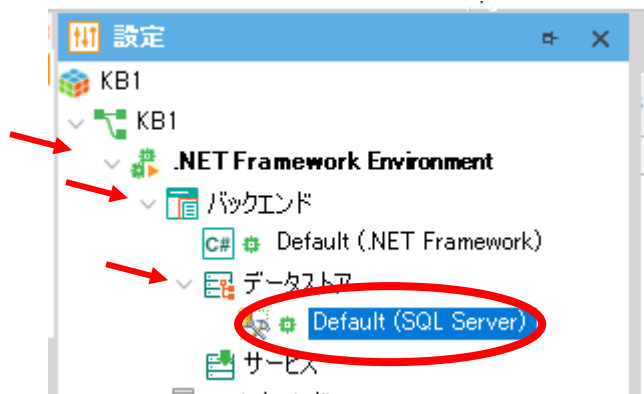
5. データベースの接続情報を設定します。

画面左側の設定アイコンをマウスオーバーし「設定」ウィンドウを表示させます。



もし、下図表示の場合は、「設定」をクリックします。





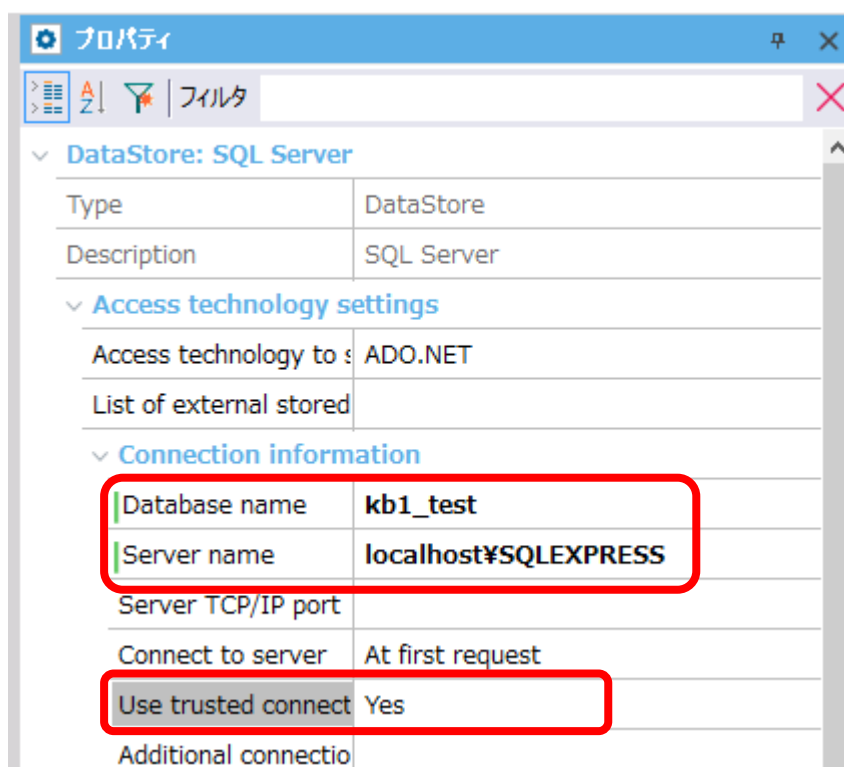
「>」をクリックしノードを開き「Default」を選択後キーボードのF 4キーを押します。

「プロパティ」ウィンドウが表示されるため、次のプロパティを設定し、

Windows 認証を利用する設定を行います（2で「詳細」ボタンから設定変更をしなかった場合）：

Database name : kb1_test

Server name : localhost¥SQLEXPRESS³



³ SQLserver のサーバー名です。SQLserver の Express 版の既定では「マシン名¥sqlexpress」です。

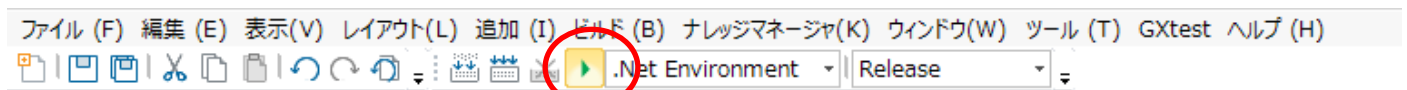
例 : localhost¥sqlexpress

■SQLserver 認証を利用する場合（手順2の「■（参考）SQL サーバーへの接続に「SQL サーバー接続」を利用するには」の設定が必要だった場合、もしくは SQLserver との接続による再編成エラーが発生した場合）：

[Database name]と[Server Name]のほか[Use trusted connection]プロパティを No にして[User id]および[User password]を設定します。

プロパティ	
Type	DataStore
Description	SQL Server
▼ Access technology settings	
Access technology to set	ADO.NET
List of external stored proc	
▼ Connection information	
Database name	kb1_test
Server name	localhost\SQLEXPRESS
Server TCP/IP port	
Connect to server	At first request
Use trusted connection	No
User id	sa
User password	●●●●●●●●●●
Additional connection st	

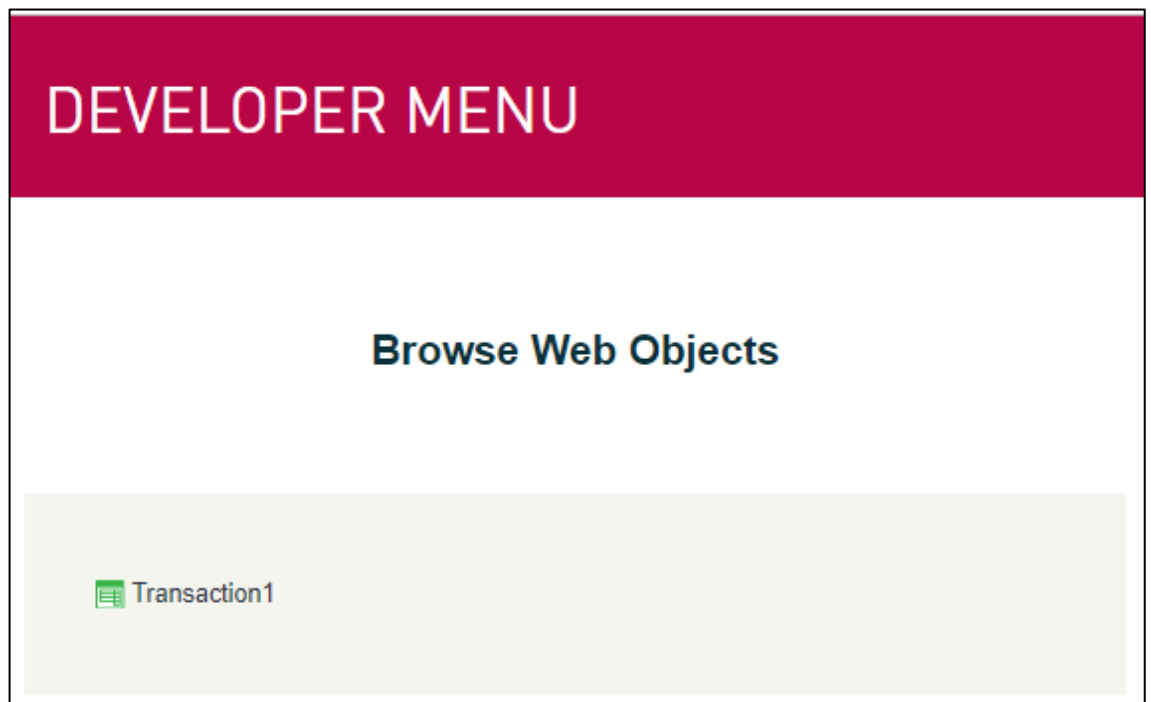
6. ビルドを実行します。



7. 下図の画面が表示されますので、「作成」をクリックし DB の作成を指示します。

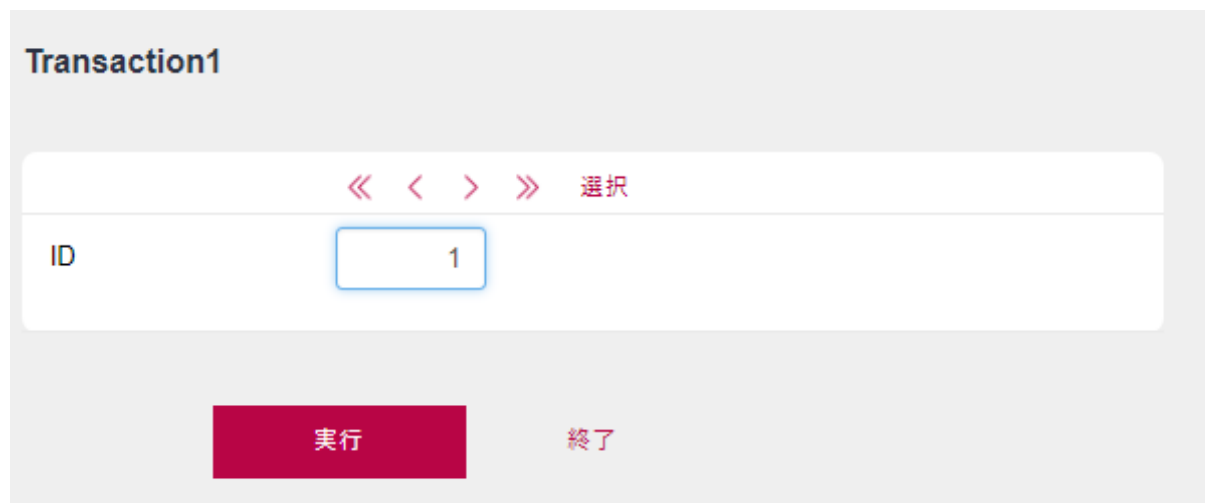


8. 正しく作成されると、ブラウザが起動され、下図のような画面が表示されます（表示されない場合は、まず [A. GeneXus 利用環境とアプリケーション実行環境の準備](#) に戻り DB の接続情報と IIS の設定をご確認ください）。



9. 「Transaction1」をクリックします。

10. ID に 1 を入力し、実行ボタンを押下します。



The screenshot shows a web form titled "Transaction1". At the top, there is a navigation bar with four arrows (double left, single left, single right, double right) and the text "選択". Below this is a table with one row. The first column is labeled "ID" and the second column contains the value "1". At the bottom of the form, there are two buttons: a red button labeled "実行" (Execute) and a text label "終了" (End).

11. 下図のように「・データが追加されました。」が表示されたら、環境の確認は終了です。お疲れさまでした。



The screenshot shows the same "Transaction1" form as in step 10. A yellow message box at the top left displays the text "・データが追加されました。" (Data has been added.). The table below still shows "ID" with the value "1". The "実行" (Execute) button and "終了" (End) label are still present at the bottom.

もし、「このログインで要求されたデータベース "<データベース名>" を開けません。ログインに失敗しました。」のようなエラーが発生した場合、下記 URL をご参照いただき、ご対応の上、再確認をお願いいたします。

<https://www.gxsupport.jp/gxfaq/faqdisplay.aspx?3683>